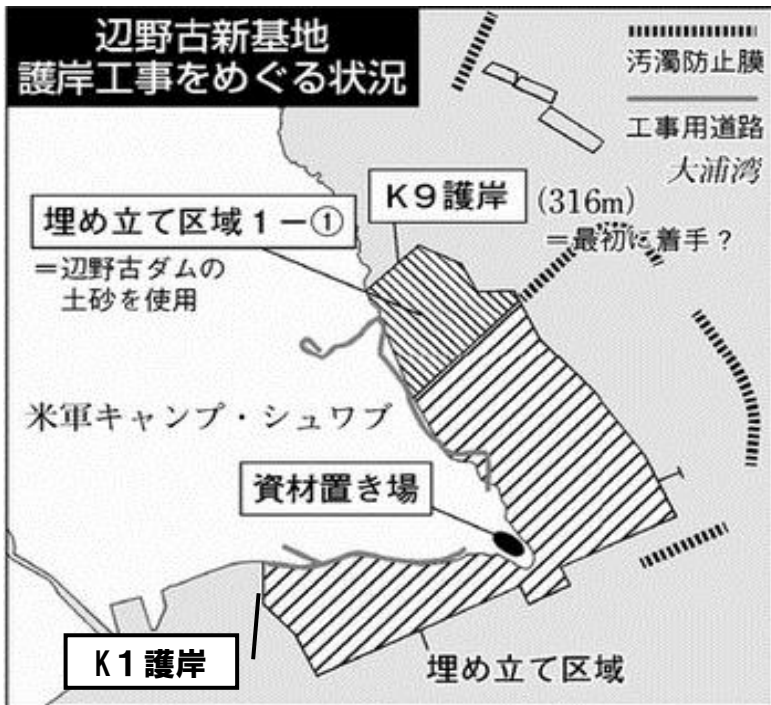


新基地建設反対名護共同センターニュース

工事続行の見通しも立たない防衛局



辺野古新基地建設の着工から3年経過しましたが、防衛局は当初予定の行程から著しく遅れているばかりではなく、工事続行の見通しも立っていないのが現状です。現在進められている工事は生コンプラント工事とK9護岸工事です。予定では1年目に①護岸工事、②浚渫工事、③作業ヤード工事、④埋め立て土砂の採取、⑤美謝川の水路切り替えなどを始めるとしていましたが、

しかし、①護岸工事はK9護岸の316mのうち100mだけで停止中。④は未着手、③は辺野古漁港の使用を名護市が認めないので中断状態。⑤は美謝川の水路切り替えは名護市長の許可が必要ですが、いまだ許可申請さえ出せず見通しが立たっていません。

そこで防衛局は、工事可能な箇所から工事を始めようと、K1護岸建設につながる取り付け道路の建設に着手し、本格工事を進めているという形を造り、県民にあきらめ感を与えようと必死になっているのが現状です。

こうした中、7月には県民2000人によるキャンプ・シュワブ前の「人間の鎖」行動(22日)、海上座り込み行動(25日)を成功させるなど、辺野古工事差し止めの提訴を行った翁長知事を支える運動は広がりを見せています。(まえさと保通信より)

県民の運動と知事・市長の行政権限が
 辺野古新基地建設計画を阻んでいる



翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない

8・12 県民大会に参加を

- ◆主 催 辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議
- ◆日 時 8月12日(土) 13:30 開場 14:00 開会
- ◆場 所 奥武山陸上競技場 (ゆいレール壺川駅下車が便利です)
- ◆規 模 3万人以上 (各地の島ぐるみ会議がバスを出します)

カヌー71艇、抗議船9隻で「海壊すな！」と抗議

与党市議団が稲嶺市長に出馬要請

名護市議会の与党議員でつくる「稲嶺市長を支える名護市議団」(団長・岸本洋平市議)は7月31日、稲嶺進市長に対し来年1月の市長選挙に出馬を求める要請を行いました(写真)。



稲嶺氏は「個人として重く受け止める。後援会とも相談したい」と前向きな姿勢を示しました。稲嶺氏は9月市議会で正式に出馬表明するとみられます。



ヘリ基地反対協は7月25日午前、「海上座り込み大行動」をカヌー71艇、抗議船9隻で実施。午後1時から辺野古の浜で250人の参加で連帯集会を行いました。集会上空には「平和連風」が勢いよく揚がりました。

